

## 入隊者が近況報告に来訪



近況報告に訪れた入隊者たちと担当広報官（後列左端）

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤一空尉）に、5月2日（火）、今年度入隊した一般曹候補生5名、及び自衛官候補生3名の計8名が近況報告に訪れた。

候補生たちは、真っ黒に日焼けした姿で事務所に現れ、呉や防府南、熊谷、横須賀の各教育隊での生活を約1ヶ月経験し、自衛隊での生活にも徐々に慣れてきた様子で、「班長が親身に相談に乗ってくれる」「基地のご飯はとても美味しい」「入隊後、5キロも痩せた」など、それぞれの近況を笑顔で話してくれた。候補生たちは、お互いの情報交換ができたことで、すっかり気持ちも和らぎ、ゴールデンウィーク後の教育隊での活動への意欲を高めた様子であった。

市ヶ尾募集案内所は、「今後も、入隊した隊員との交流を継続し、自衛隊の後輩として活躍を応援していきたい」としている。

## 神奈川県唯一の村から入隊「将来は、空挺隊員に！」



近況報告に事務所を訪れた畑根候補生

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 岡山一海尉）に、今春自衛官候補生として板妻駐屯地に入隊した畑根候補生が近況報告に訪れた。

同候補生は、神奈川県唯一の村、清川村（人口約3000人）より入隊した自衛官候補生で、ゴールデンウィークの休暇を利用して事務所を訪れ、担当広報官に対し、「板妻駐屯地は朝晩冷え込み、霧がかかる日もありますが、食事もおいしく恵まれた環境で過ごしています」「教官の方々に親切で丁寧な教えを頂いている」などと笑顔で話してくれた。また、入隊前に比べ身体も引き締まり、「体力検定で1級を取得、将来は空挺隊員を目指しています。頑張っ

て陸曹になりたい」と力強く語っていた。

厚木募集案内所は、「今後も、清川村から畑根候補生に続く入隊者を輩出できるように、地域と連携して募集活動にまい進していく」としている。

## 「ららぽーと横浜」文教堂ホビー店内に募集ポスター設置



神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤一空尉）は、5月8日（月）、ららぽーと横浜（横浜市都筑区）に店舗を構える文教堂ホビー店内に、自衛官募集ポスターを新たに設置した。

同店では、陸海空自衛隊のプラモデルやグッズを多種販売しており、募集広報効果が見込める良い環境と捉え、店長のご理解を得て、今回のポスター設置に至った。また、店長のご配慮により、店内の自衛隊コーナー中央にポスターを掲示して頂き、多大な広報効果が期待できる。

市ヶ尾募集案内所は、「今後も、地域の協力を得て新たなポスター掲示場所を確保し、志願者の増加に繋げたい」としている。